

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和6年2月1日  
発行者：袋井市企画政策課

## 700年続く希祭「田遊祭」

室町時代より法多地域に伝わる五穀豊穡を祈願するお祭り



## 国重要無形民俗文化財 指定へ



**五穀豊穡願う袋井の伝統 稲作模す 軽妙、華やかな舞**

「法多山の田遊び」は、法多山専水寺（袋井市）で室町時代から継承されてきたと伝わる。稲作の工程を模した7段の舞や祝詞などを奉納して、その年の五穀豊穡（ほうじょう）を祈願する。

舞は清めの「太刀の舞」で幕を開ける。中盤の「田打ち・牛ほめ」ではくわを担いだ兄弟と暴れ牛が登場し、狂言要素を含む軽妙な掛け合いを繰り広げる。最後は花がさかふたつ若衆が華やかな舞を披露する「せうとめ」で締めくくられる。

現在は同祭保存会員によって伝統が引き継がれ、毎年7月7日に本堂前で執り行われている。

### 文化審答申

文化審議会は6日、袋井市の「法多山の田遊び」など4件を重要無形民俗文化財に、東日本の鑄物の一大産地、栃木県佐野市の「佐野の天明（てんみょう）鑄物生産用具および製品」を重要有形民俗文化財に指定するよう文部科学相に答申した。近々答申通り指定される。

## 「法多山の田遊び」指定へ

「法多山の田遊び」は、豊作を願う稲作の工程を模した演じる「田遊び」の遠州周辺の特徴をよく伝えられていると選ばれた。佐野の鑄物生産は平安時代から続く。代が起源とされる。指定の対象は、明治から大正期を中心に製造・使用された用具・製品1556点。溶解炉やたたら板といった一連の生産工程の用具や、羽釜や鉄瓶などの製品を含む。一鑄物師の技術の高さをうかがうことができ、わが国の鑄物生産の変遷を考える上で「重要だ」とした。

重要無形民俗文化財は他に、香川県・小豆島の「小豆島農村歌舞伎」など。指定により重要無形民俗文化財は2000件（静岡県内は12件）、重要有形民俗文化財は2000件（静岡県内は12件）となる。

北海道開拓に重要な役割を果たした馬の蹄鉄（てい）に関する「鷹栖の装束」も指定された。

また清蔵の絵があり記録を残すべき無形の民俗文化財に、高知県津野町で伝承されている風流踊（ふうりゅうどり）の「つばき山の花取踊」など12件を選んだ。

### 田遊祭とは…



法多山に伝わる「田遊祭」は、民俗芸能と仏教行事が合体し行われています。

文化財として指定されているのは民俗芸能としての貴重さから、民と仏教の融合した祭として700年脈々と受け継がれた催しです。

本堂を目指して時代装束に身を包んだ村方衆と寺方衆が杉並木の参道を進みます。

村方衆により本堂前の北谷寺で奉納される七段の舞は、米作りの過程を七段構成の舞楽で表現したもので、民俗学的にも貴重なものとして有名です。祭りの最後の放ち矢の神事の後に、福餅投げが行われます。